

平成27年 3 月期 決算説明資料

株式会社ユビキタス

代表取締役社長 佐野 勝大

© 2015 Ubiquitous Corporation. All rights reserved.

This presentation is for informational purposes only. Ubiquitous makes no warranties, express or implied, in this summary.



Ubiquitous

Agenda

- 平成27年 3 月期業績の概要
 - － 経営成績、財政状況
- 中期経営計画と平成28年3月期の取り組み

業績の概要

平成27年 3 月期 決算ハイライト

単位：百万円

	当期実績	予 算 比	前 期 比	予 算	前 期 実 績
売 上 高	885	+85	+121	800	764
営 業 損 益	▲208	+142	+232	▲350	▲441
経 常 損 益	▲209	+141	+229	▲350	▲439
当期純損益	▲222	+130	+326	▲353	▲549

- ◆売上高予算比111%、前期比116%、損失大幅圧縮
- ◆成長に向けた資金調達手段の確保
- ◆スマートエネルギー/車載関連の案件が顕在化、受託開発、ライセンスで成果
- ◆データベース OA、車載関連でライセンス好調
- ◆高速起動 車載出荷本格化
- ◆ミラクル・リナックス社との車載分野協業スタート

セグメント及び分野別の売上高（前期比）

単位：百万円

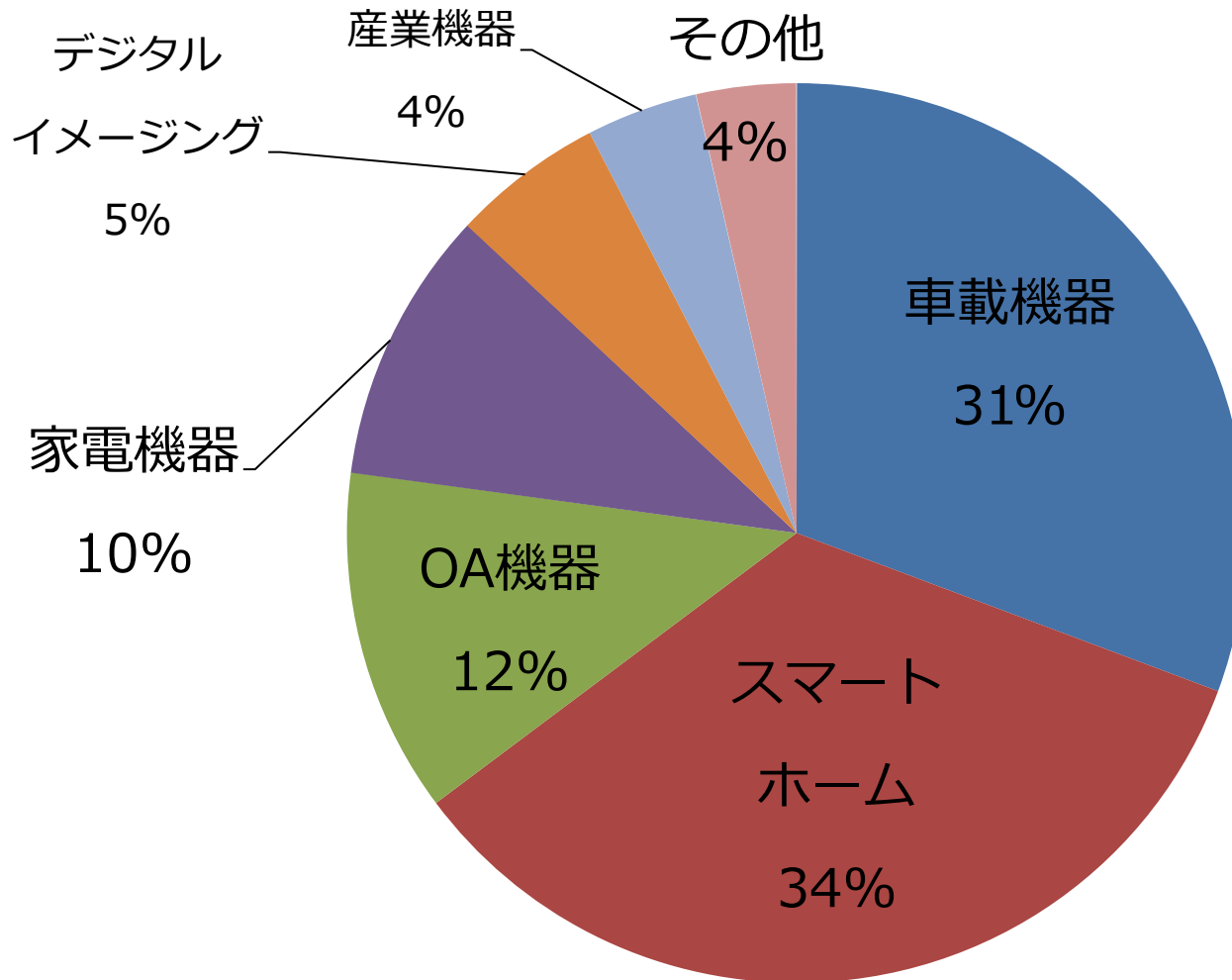
セグメント	分 野	前 期	H27.3月期	増 減 率
組込み ソフトウェア 事業	ネ ッ ト ワ ー ク	364	350	△3.9%
	デ ー タ ベ ー ス	132	226	71.4%
	高 速 起 動	106	148	40.2%
	小 計	602	725	20.4%
サービス 事業	サービスプラット フ ォ ー ム	161	159	△1.1%
合 計		764	885	15.9%

形態別の売上高（前期比）

単位：百万円

分野	前期	H27.3月期	増減率
使用許諾	389	526	35.4%
サポート	54	48	△10.9%
受託開発	223	291	30.5%
製品売上高	88	12	△85.7%
その他	9	6	△32.8%
合計	764	885	15.9%

市場別の売上構成比



セグメント別売上及び利益

単位：百万円

		前	期	H27.3月期	増減額
組込み ソフトウェア 事業	売上高	602		725	122
	セグメント利益	△194		△51	142
サービス事業	売上高	161		159	△1
	セグメント利益	△247		△157	89

貸借対照表（資産の部）

単位：百万円

	前 期 末	H27.3月期末	増 減 額
流動資産	1,221	1,755	534
現金及び預金	837	997	159
売掛金	138	278	139
その他	244	480	236
固定資産	594	263	△330
資産合計	1,815	2,019	204

貸借対照表（負債・純資産の部）

単位：百万円

	前	期	末	H27.3月期末	増	減	額
負債合計			109	203			93
流動負債			74	167			92
固定負債			35	35			0
純資産合計			1,705	1,816			110
資本金			609	758			148
資本準備金			579	728			148
利益剰余金			482	260		△	222
その他			32	69			36
負債純資産合計			1,815	2,019			204

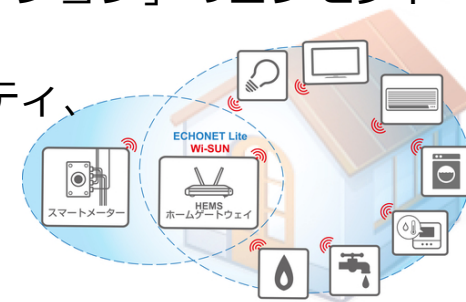
セグメント及び分野別の 動向と取り組み

■ 事業全体

- スマートホーム/エネルギー分野でECHONET Lite関連製品を中心として複数の中大型案件を含む受託開発及びロイヤルティ等で収益を計上
- 車載機器分野向け製品は一部案件獲得も、キャンセル等もあり低調

■ トピックス

- スマートホーム/エネルギー関連での製品、業務提携強化
 - Wi-SUN対応通信用プロトコルスタック「Ubiquitous Wi-SMART」の発売開始、HAN規格対応発表
- 次世代車載機器向け技術への取り組み
 - サイバートラスト社と共同で「ドライバーズ認証ソリューション」のコンセプトデモを実施
 - その他車載機器のネットワーク化に伴う、コネクティビティ、セキュリティ関連の技術研究を継続



■ 村田製作所社との協業

- 順調に協業が継続、スマートホーム分野、車載機器分野に加え、新たにセンサー分野などで協業検討を開始

■ 事業全体

- 新規顧客との包括開発契約に基づくロイヤルティ及び既存顧客からのロイヤルティを中心にOA分野及び車載機器分野を中心に売上を計上
- 産業機器分野において新規顧客より契約一時金を獲得

■ トピックス

- Internet of Things(以下、IoT)分野での適用可能性の検討継続

平成27年度主要採用事例



京セラドキュメントソリューションズ

TASKalfa 755ci

ECOSYS M6526 cid

■ 事業全体

- 車載機器（カーナビ）関連中心に拡販中
 - 既存大口顧客出荷好調により、ロイヤルティ収益を継続獲得、採用継続に向けた包括契約を締結
 - 複数の顧客より、次期製品搭載を前提とした新規案件を獲得

■ トピックス

- ミラクル・リナックス社との業務提携
 - 車載品質のLinuxの開発に向けた具体的検討の継続、H27年1月開催のカーエレクトロニクス展にて組込みLinux統合ソリューションのプロトタイプ開発(TIZEN IVI3.0)を発表

平成27年度主要採用事例



JVCケンウッド
MDV-L502W



富士通テン
AVN-SZX04i(2014/秋モデル)

サービス事業

■ 事業全体

- 電力小売事業に参入予定の企業にスマートエネルギー関連大型案件の受託開発、ロイヤルティ、契約一時金による収益を計上、次年度以降の運用に向けた継続案件の獲得
- HEMSクラウドサービス「Navi-Ene」に関する受託開発案件、HEMS機器「Navi-Ene」の販売及びオフィスの電気使用量を管理するシステムの受託案件等により、一定の収益を計上

■ トピックス

- ビジネスの加速に向けたパートナー協業の強化
 - Salesforce, 岡谷鋼機、アットマークテクノ、オプションワイヤレスジャパン、オプテックス社など



中期経営計画と 平成28年3月期の取り組み

中期経営計画 進捗と方向性

みらいをつなぐ ユビキタス

ユビキタス社会の実現に貢献する
テクノロジープロバイダ

平成29年3月期
1,500(150)

百万円

本格的な収益化と
次の成長のステップ

平成30年3月期
売上拡大、
安定利益の確保

既存製品での収益の拡大
と次世代の製品、サービ
スの提供による次の成長
へ

平成32年
(2020年) まで
に、売上高30
億、営業利益率
25%以上の達成

平成28年3月期
1,150(18)

着実な収益原資の積上げと次世代
の製品、サービスの充実

平成27年 3月期
885(▲208)

事業体制再構築と成長
への足掛かり

新しいイノベーション

次世代コネクティビティ技術

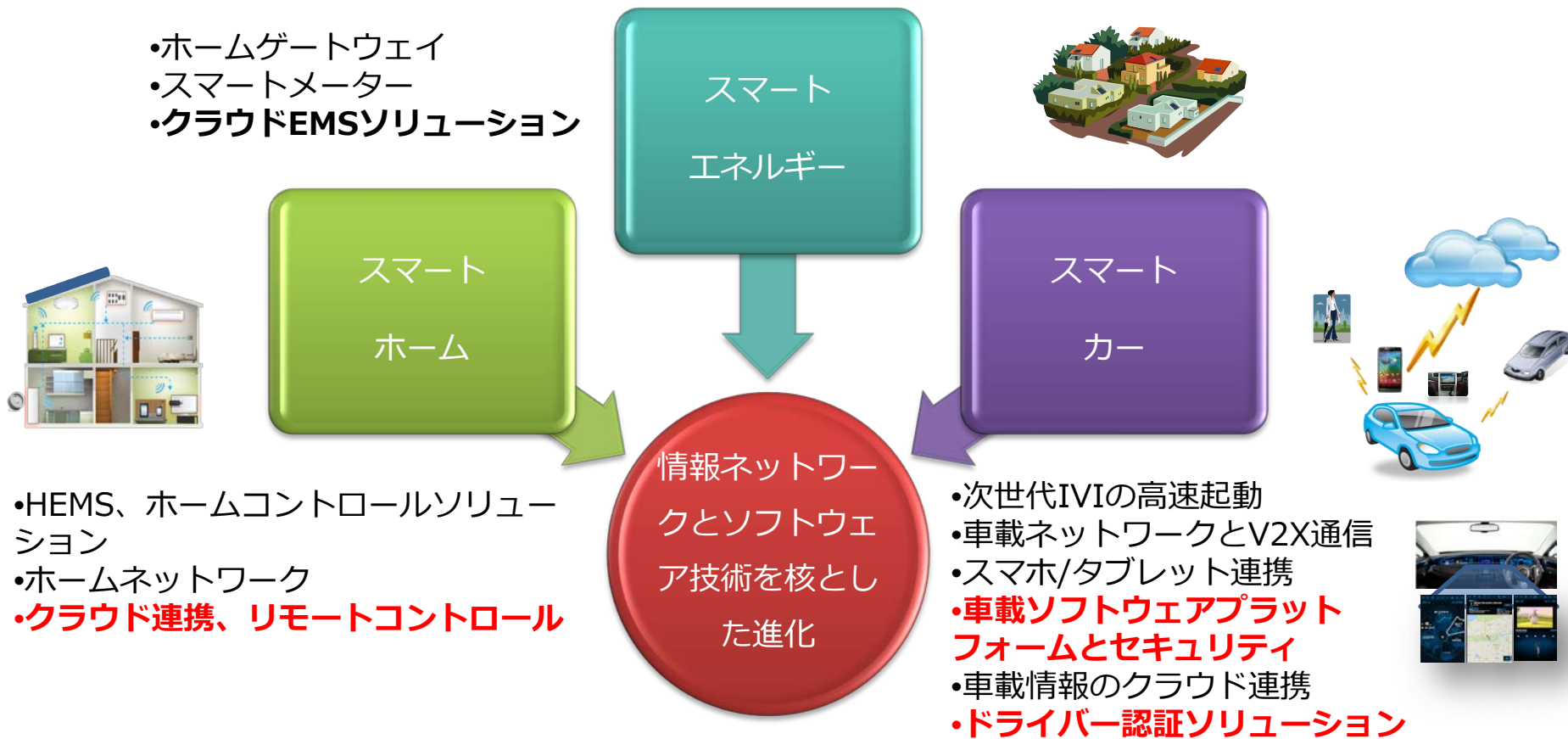
ネットワーク技術とサービス融合

IoTクラウドプラットフォーム

スマートエネルギー/スマートホーム

車載ネットワーク/システムの高速化

中期計画 注力分野 – 成長市場への投資



IoT時代に向けた事業再編

■ IoT時代のソリューションプロバイダーを目指し事業体制を再編

コネクティビティ 事業

IoT機器向けの
ネットワークソフトウェア

迅速、安価にIoTを実現する
クラウドプラットフォーム

IoTスマートサービス
ソリューション

組み込みソフトウェア 事業

スマートデバイスの
高速起動技術

IoT時代のデバイスデータ
管理ソリューション

車載機器向け
Linuxソリューション

事業分野別中期目標

コネクティビティ 事業

平成29年3月期 売上高 10.5億円

- ・ 高い成長率が見込まれる、IoT分野でのエンドツーエンドのプラットフォーム展開とスマートエネルギーなどの分野特化型ソリューション展開による収益化

組込みソフトウェア 事業

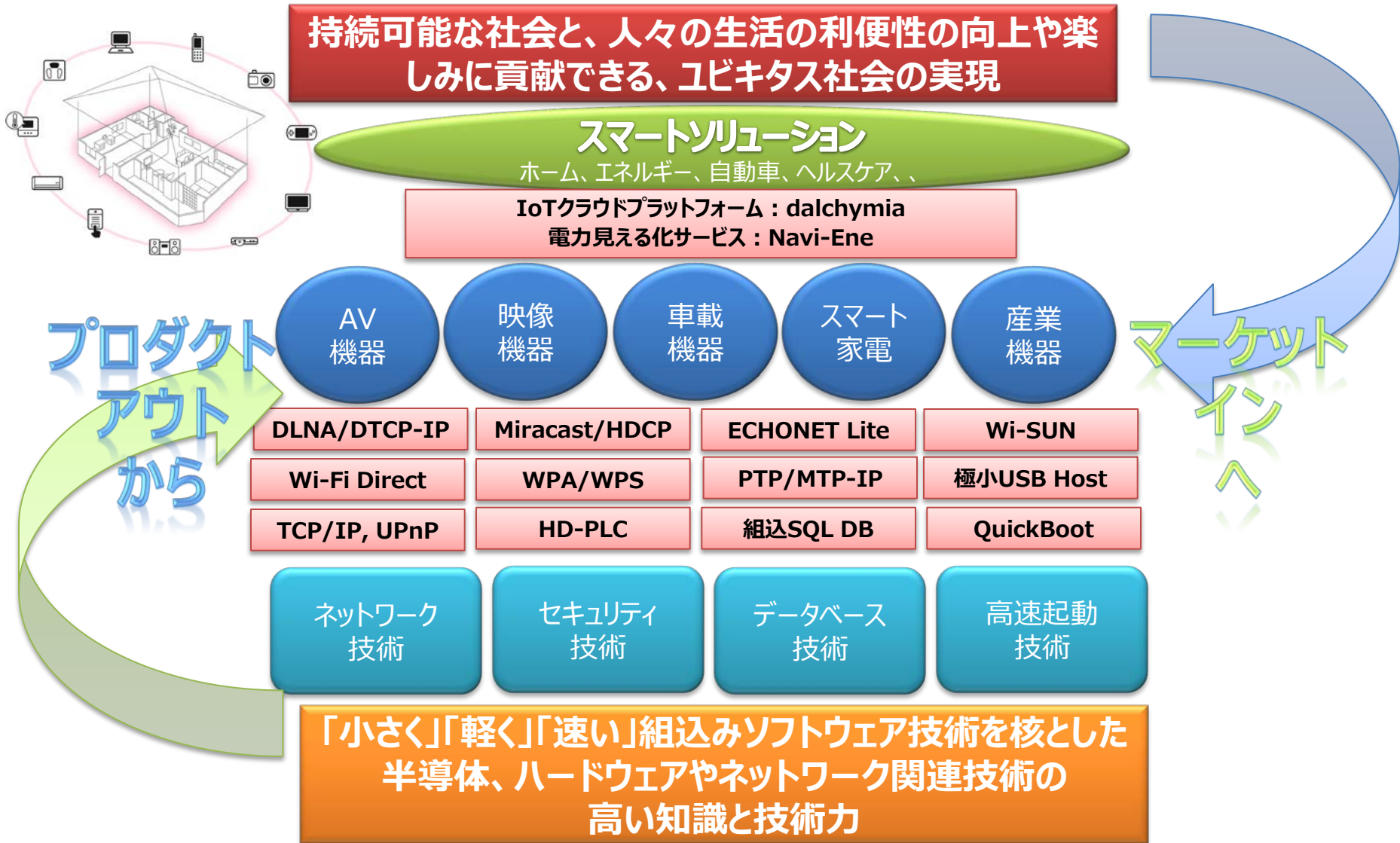
平成29年3月期 売上高 4.5億円

- ・ 車載機器、OA、産業機器向け中心での確実な収益確保と次世代スマートカーのソフトウェアプラットフォームをパートナーと共に展開

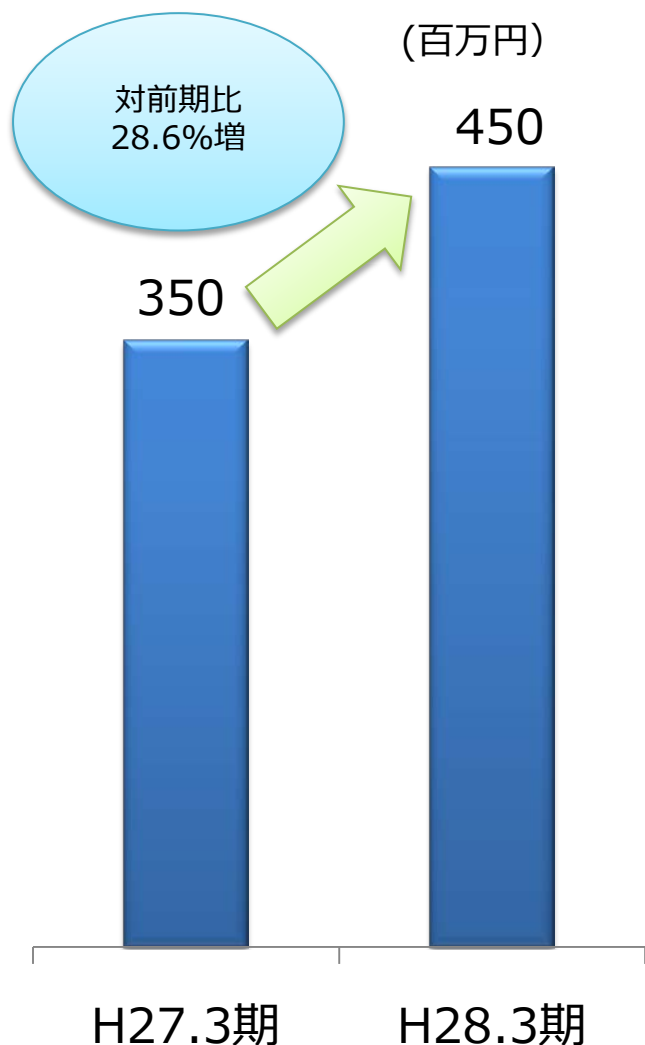
車載、スマートライフ/エネルギー
を中心としたIoT市場に注力

**平成29年3月期に売上高15億円/営業利益1.5億円
(営業利益率 10%)超、平成30年度から収益化を加速**

ユビキタスのフォーカスエリア



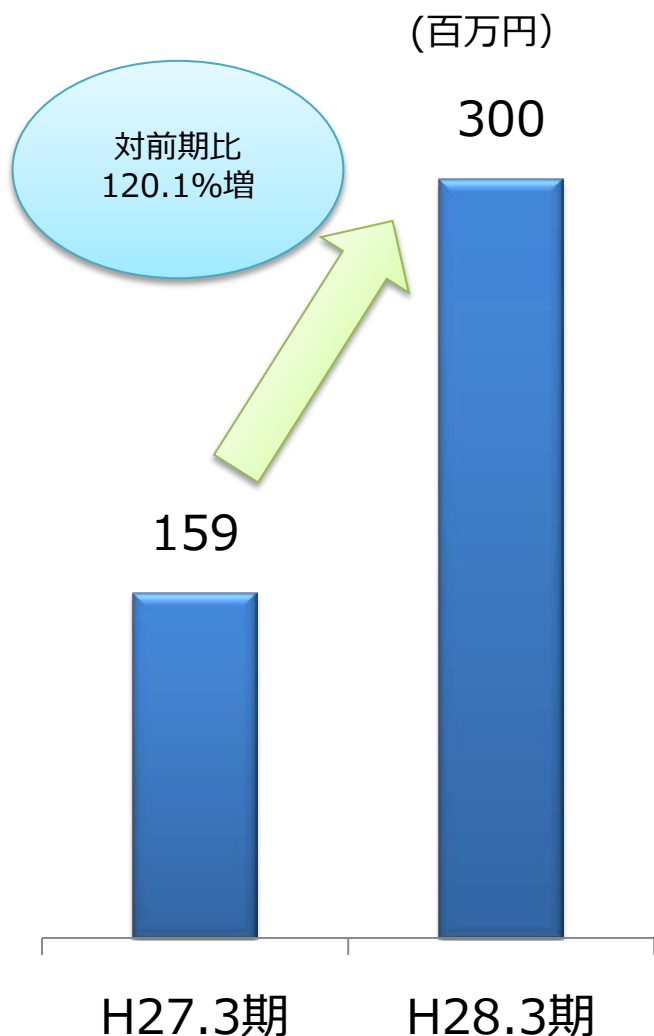
組込みネットワーク関連 – 重点取り組み



重点取り組み

- ・クラウドサービス（インターネット、クラウド技術）と連携した次世代無線/コネクティビティ/セキュリティ製品や複合サービスの研究開発と商品化及び拡販強化
- ・村田製作所社との協業連携による収益拡大と、半導体/モジュールベンダー/代理店などのパートナーシップ強化による拡販強化を継続
- ・次世代スマートエネルギー/ホームネットワーク/スマートカー向けの技術・製品の充実

サービス関連 – 重点取り組み

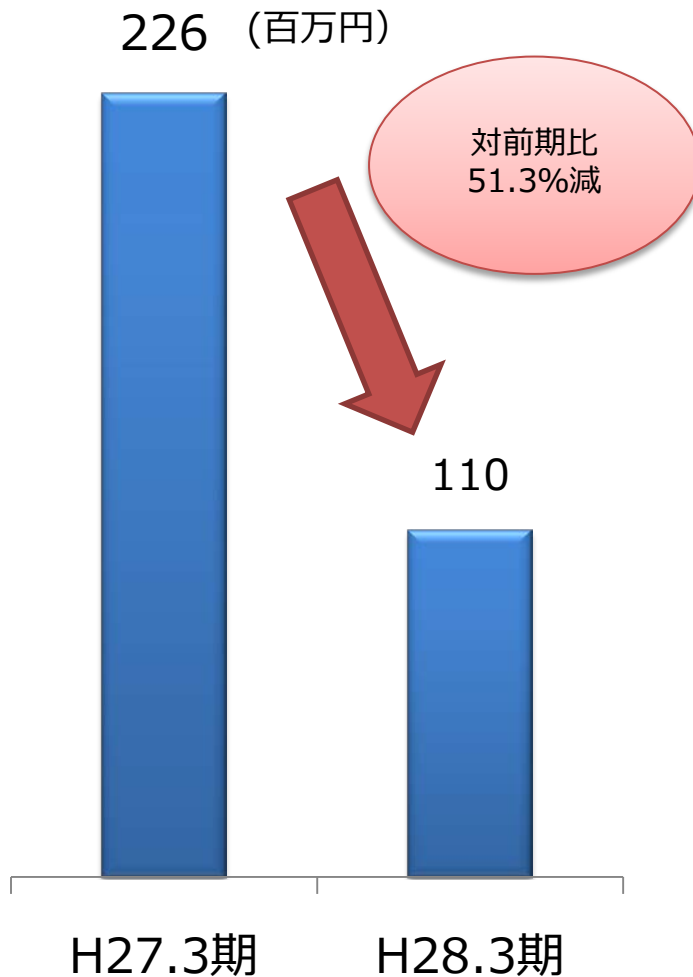


重点取り組み

- dalchymiaの次世代展開、パートナー連携による特化型ソリューション展開とビジネス加速（車載、スマートライフ、ヘルスケアetc）
- 組込みネットワークと連携したエンドツーエンドのソリューション展開の訴求
- センサーデバイス+IoTプラットフォームソリューション展開
- クラウドHEMSの発展展開
 - 新電力事業者へのソリューション横展
 - クラウド連携ホームコントロールポータルによるサービス事業のARPU向上

データベース関連 – 重点取り組み

重点取り組み

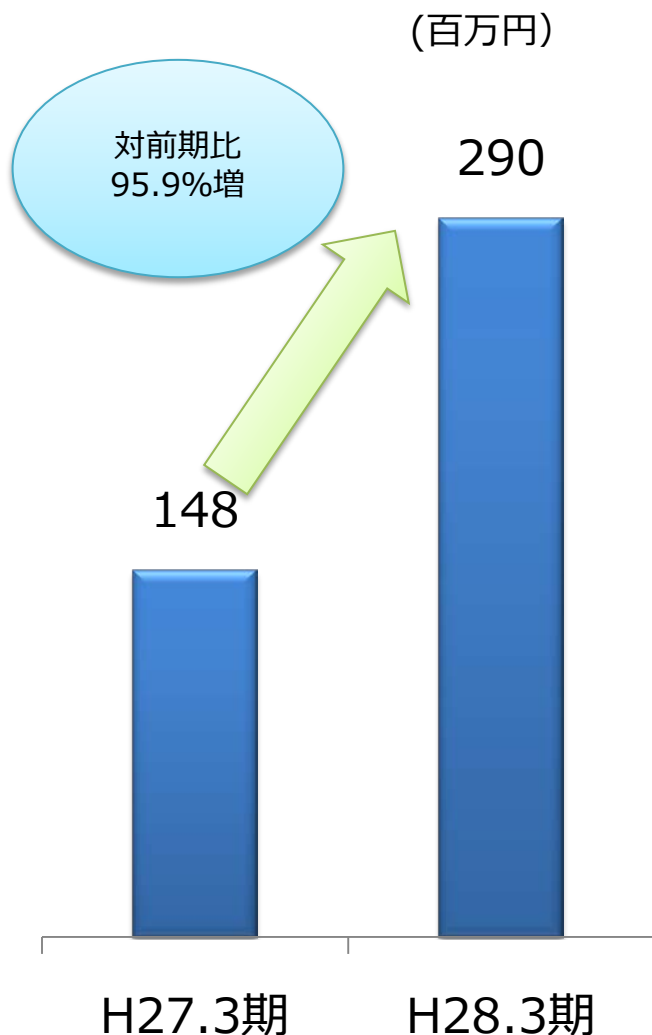


- 車載機器、OA、産業機器を中心とした長期安定収益の確保と新規開拓

※平成27年3月期に大型ロイヤルティ案件が発生したため、規模は異なるものの、引き続き、安定収益を期待

- IoT機器向けデータ管理ソリューション研究開発

高速起動関連 – 重点取り組み



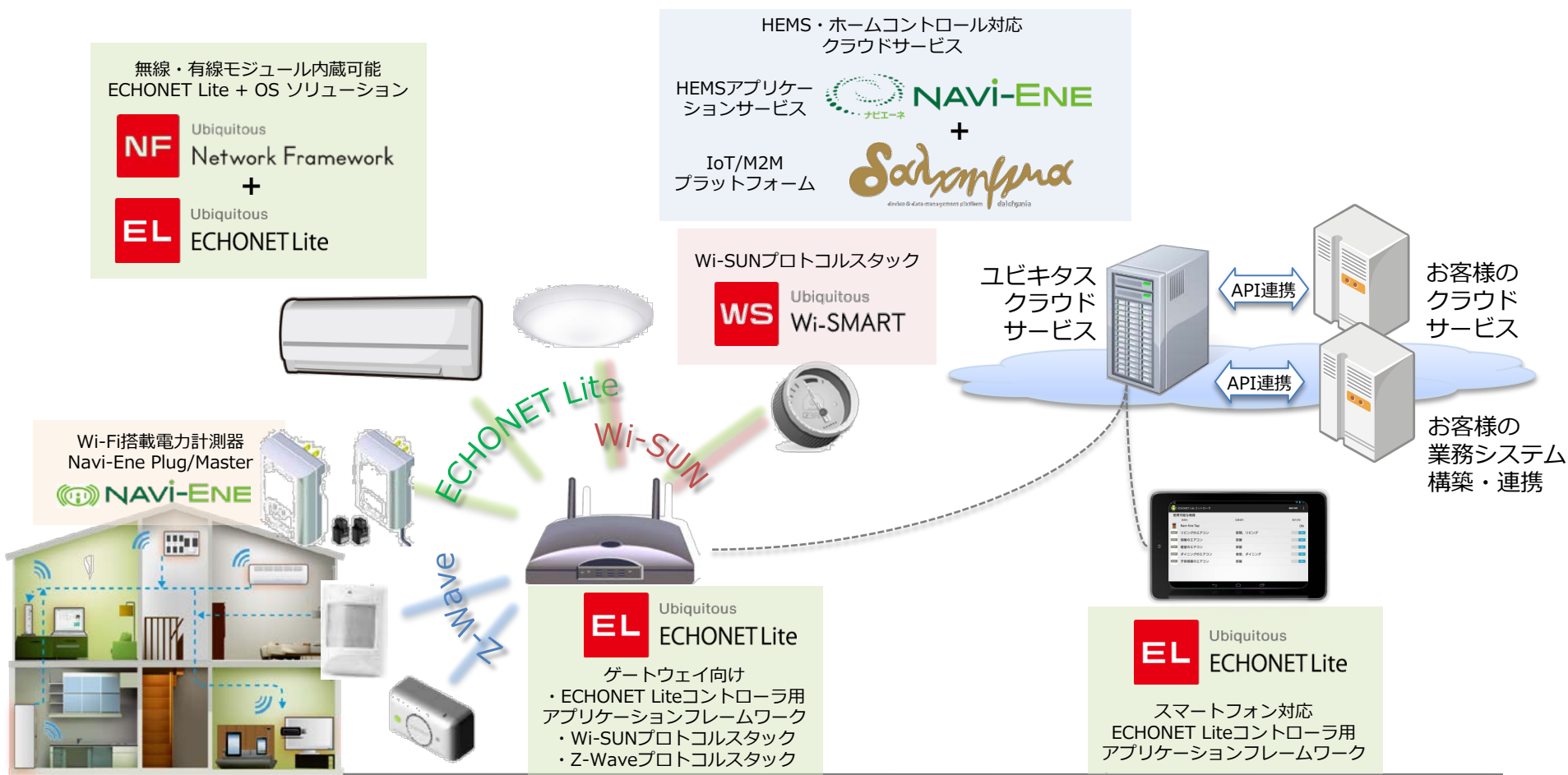
重点取り組み

- 車載機器分野でのNo.1シェア獲得と、車載機器メーカーの自動車メーカー向けOEM純正モデルでの長期継続採用獲得
- 開発パートナー企業との連携による案件対応規模及び収益拡大
- 半導体メーカーとの連携による次世代SoCと技術への対応とプラットフォーム展開
- 高速起動を核とした車載ソフトウェアプラットフォーム商材の拡充とシェア獲得

トピックス

EMSトータルソリューション

- HEMS機器開発から収集・制御、集計、EMS情報提供・サービス開発基盤までをトータルでご提供



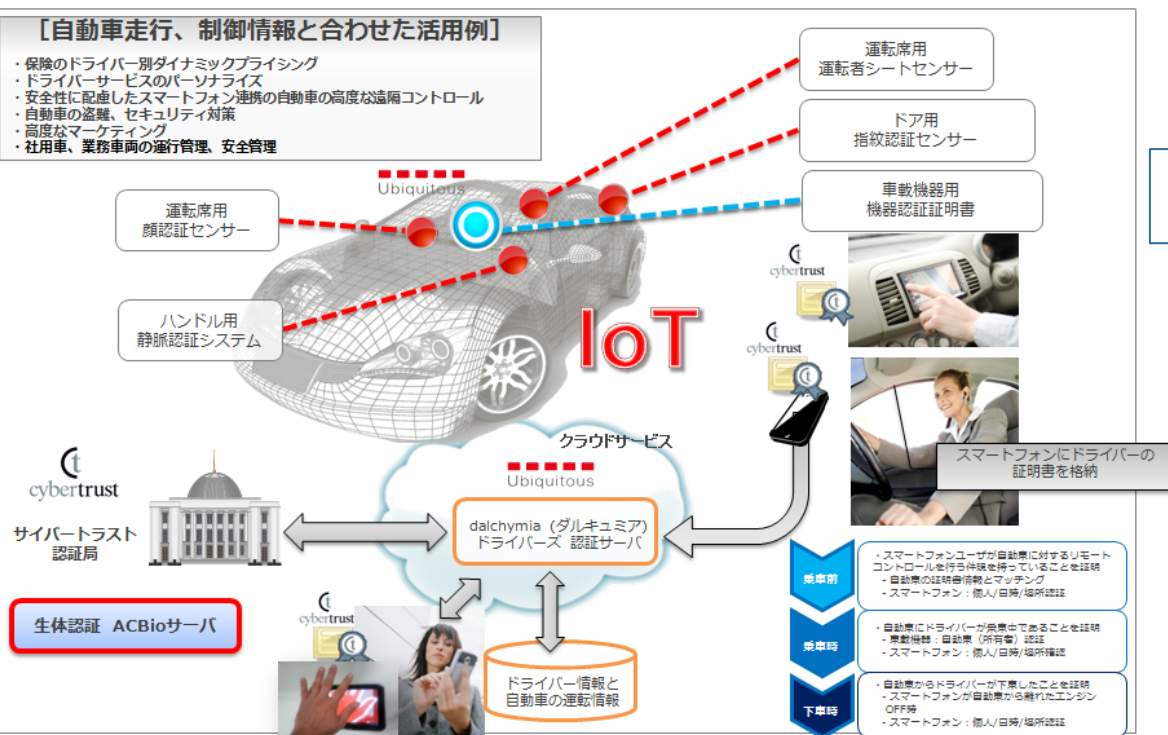
ドライバーズ認証ソリューション

IoTクラウドサービス連携

- 自動運転時代に向け、ドライバーと運転状態をリアルタイムに取得、認証する技術
 - ・誰が、いつ、どの車で、どこからどこに、どのような運転状態で運転
 - ・カーシェアリング、損害保険、個人向けサービス、業務用車両/ドライバーの高度管理など

【自動車走行、制御情報と合わせた活用例】

- ・保険のドライバー別ダイナミックプライシング
- ・ドライバーサービスのパーソナライズ
- ・安全性に配慮したスマートフォン連携の自動車の高度な遠隔コントロール
- ・自動車の盗難、セキュリティ対策
- ・高度なマーケティング
- ・社用車、業務車両の運行管理、安全管理



車載リアルタイム
情報

顔認証用
カメラ

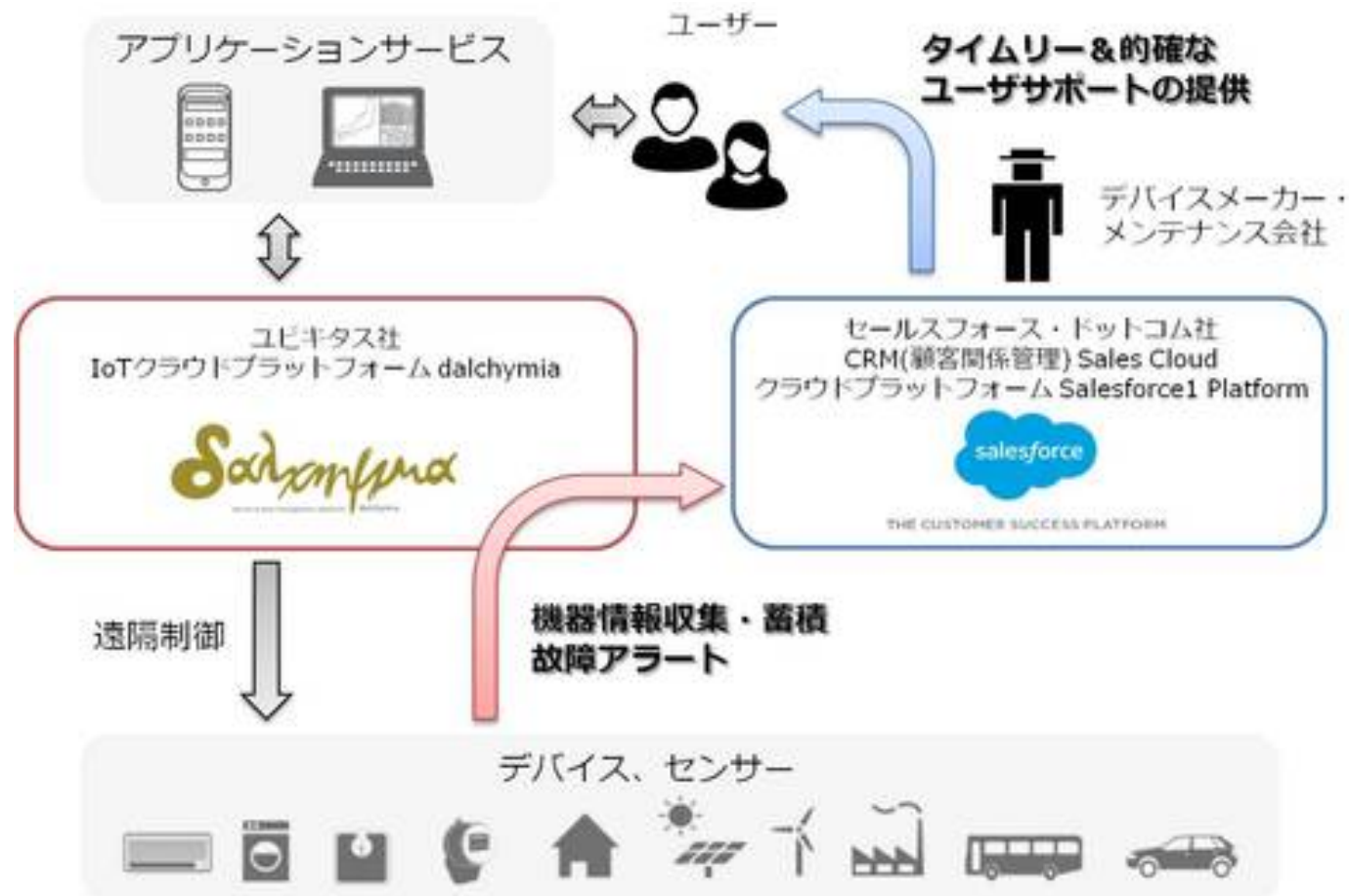


指紋認証

顔認証

Salesforceとの連携 IoTクラウドサービス連携

- 「Salesforce1 IoTジャンプスタートプログラム」パートナーとしてCRM連携
・ 第一弾として、機器の状態監視とCRMを連携した保守・メンテナンスソリューションの展開を開始



Appendix

平成27年 3月期 第4四半期 開示一覧

発表日		プレスリリース
第4四半期	1月14日	■ ユビキタス社とミラクル・リナックス社、日本発の車載機器向けLinux統合ソリューションの第1弾としてプロトタイプを開発 ～Tizen IVI 3.0搭載、車載情報機器向けSoCの高速起動を実現～
	2月25日	■ （お知らせ）ユビキタス社のNavi-Ene HEMS機器が「エディスマHEMS」スマートタップオプションとして採用
平成28年 3月期 第1四半期 (参考)	4月22日	■ ユビキタス社とアットマークテクノ社、クラウドプラットフォームdalchymiaとArmadillo-IoTゲートウェイで協業～IoT/M2M市場向けデータ分散処理・管理ソリューション開発で協業を深化～
	4月24日	■ ユビキタス社の920MHz帯無線プロトコルスタック「Ubiquitous Wi-SMART」 がHAN規格に対応～スマートエネルギー / ホームネットワーク向けラインアップを強化～
	5月1日	■ ユビキタス社のIoT(Internet of Things)サービスプラットフォーム「dalchymia」、日本サーキット社の環境センサ製品と連携～IoT/M2M市場向けデータ分散処理・管理ソリューションのコンセプト・デモ展示～
	5月8日	■ ユビキタス社のECHONET LiteやHEMSクラウドサービスなどスマートハウスを実現するソリューションが、住宅メーカー・マンション事業者向けスマートハウストータルソリューションパッケージに採用
	5月11日	■ ユビキタス社、Salesforceとの連携によりモノとヒトをつなげるIoTプラットフォームを強化～「Salesforce1 IoTジャンプスタートプログラム」パートナーとしてCRM連携へ対応～
	5月11日	■ ユビキタス社のIoT(Internet of Things)サービスプラットフォーム「dalchymia」、オプション・ワイヤレス・ジャパンのLinux3GゲートウェイCloudGateと連携～温湿度、気圧、照度といった様々なセンサからのデータを見える化・分析デモ～

平成27年 3 月期 第 4 四半期 開示一覧

開示日		適時開示
第 4 四半期	1月5日	■ 行使価額修正条項付き第11回新株予約権（第三者割当て）の月間行使状況に関するお知らせ
	2月2日	■ 行使価額修正条項付き第11回新株予約権（第三者割当て）の月間行使状況に関するお知らせ
	3月2日	■ 行使価額修正条項付き第11回新株予約権（第三者割当て）の月間行使状況に関するお知らせ
	3月5日	■ （訂正）「行使価額修正条項付き第11回新株予約権（第三者割当て）の月間行使状況に関するお知らせ」の一部訂正について
	3月24日	■ 行使価額修正条項付き第11回新株予約権（第三者割当て）の大量行使に関するお知らせ
平成28年 3 月期 第1四半期 (参考)	4月1日	■ 行使価額修正条項付き第11回新株予約権（第三者割当て）の月間行使状況に関するお知らせ
	4月13日	■ 通期業績予想の修正に関するお知らせ
	5月1日	■ 行使価額修正条項付き第11回新株予約権（第三者割当て）の月間行使状況に関するお知らせ

質疑応答概要

【Q1】

ドライバー認証ソリューションの事業化の目処はいつ頃か？事業化した場合の収益はどのくらいの規模か？

【A1】

一部の顧客から実証実験の引き合いがきており、今年度から実証実験を開始して、2～3年後には事業化したいと考えております。事業化した場合、最初は、特定の事業所様向けのサービスとして、数千万円の前半程度の規模で開始し、安全性を証明できた段階で、事業規模も拡大するものと想定しています。

【Q2】

今回の決算説明会での説明からは、かなりIoTに関する具体的な案件が増えてきた印象を受けたが、この半年で何が変わったのか、具体的なものがあれば伺いたい。

【A2】

足元の経済環境が変わり、日本企業のIoTに関する投資意欲は膨らんできていると感じております。特にエネルギー・マネジメントの分野は、従来の省エネに加えて、2016年の電力小売自由化に向けて新規参入者が増えてきましたので、市場が動き出しており、案件引き合いが増加基調となっております。

ただ、IoTというのは、設備監視、遠隔監視など、ネットワークで「モノ」をつなぐというのが基礎となり、クラウド側の一部先端技術への対応以外は、当社が従来より要素技術として取り組んできたものですので、基本的には、当社の取り組み自体はあまり変わっておりません。

【Q3】

カーナビの分野では、ここ1、2年は収益化が遅れているとの説明を受けていたが、今回は、前倒しで売上が増加するという変化が生じているが、なぜか？

【A3】

直近で取り組んだことがすぐに収益に結びつくビジネスではありませんので、この2、3年の事業取り組みが、ようやく成果として結果に表れたものと考えております。また、製造メーカー様の業績が好調であることも理由の一つと考えております。



Ubiquitous

株式会社ユビキタス Ubiquitous Corporation

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-21-1 明宝ビル6F TEL : 03-5908-3451 FAX : 03-5908-3452